



石造りの階段アプローチ。両脇に生い茂る緑が美しい。



穴をあけて木立を残したデッキ。木陰を楽しめます。

「不思議なんだけれど、この庭、昔からここにあったみたい」  
そう言われるのは光栄だし、  
ガーデンデザイナー冥利につきますね。



芝生、石造りのテラス、木製デッキと多彩な表情の庭。



家とのバランスや緑の配合が絶妙なオープンファサード。



### 「人為的に「つくり出す」のではなく 「生まれ出す」のが自然感

自然感というのは、「つくり出す」というよりも「生まれ出す」ようなニュアンスです。意識的につくろうとしないので、投げ出すような感じ。たとえば砂利をバーンとばらまいて、落ちた位置に球根を植えるとか、ある種の偶然を取り込んでいく。人工的、作画的になりがちなところを、突き放すことで、より自然な感じに近くできるかな、と思っています。

焼き物などもそう。意識して形をつくるわけですけど、釜に入れて火の洗礼を受けると、自分の意図に反し、そのつど出来上がりが違ってきます。人間の意図や細工を超えた、自然の力。「生まれ出す」というのは、そういう意味合いです。

完成した庭を見たお客様から、こんなふうに言われることがあります。「不思議なんだけれど、この庭、なんだか昔からここにあったみたい」。それは、何の違和感もなく、自然なたたずまいを見せているということであり、私自身が心がけていること。ですから、そう言われるのは光栄だし、ガーデンデザイナー冥利につきますね。

### 庭づくりは「マイナス」の作業 メンテナンスなしでは美しく保てない

庭のデザインは、計画して図面にして、デッキの部材や形を考え、

アプローチの石張りや飛び石の配置を決め、つくばいを選び、そうやって仕上げていきます。そして、それに植物が入ってくることで完成します。

植物は、春には芽吹いて、夏は繁って、秋は紅葉して、冬は枯れます。春や夏に草が生い茂り木が育っていくと、デザインされた部分にかぶさっていき、自然感が増し、デザインを隠していきます。そして、秋になって落葉して、冬になって枯れてしまうと、デザインがまた現れます。

そうして、「デザイン」と「自然」がせめぎ合いながら庭の雰囲気をつくります。そのバランスをうまくとってあげるのが「メンテナンス」です。適切に手入れをすることで、快適さを保ちながら、自然感を保てるのです。

とくに木は育って高さや形を変えていくので、まめにメンテナンスをして形を整えなくてはなりません。ほったらかしにして伸び放題になってから、思いきり切りつめると、ぎこちない形になってしまったりします。

庭はメンテナンスで決まります。

庭づくりは「プラス」だと思われていますが、実は「マイナス」なんです。プラスしていくのは最初だけ。できあがった時点から後はマイナスの作業です。それが「メンテナンス」なのです。

つくることだけ夢中になって、メンテナンスが二の次になっているケースが多いですが、本当は一番大事なことです。しかし意外に見過ごされているような気がします。

いかに上手に「マイナス」していくかが、最初のイメージを保つ決め手になります。メンテナンスをおざなりにしては、庭の美しさは保てません。

### 庭が一番身近な「自然」 そして、それは「環境」につながる

最近の家は、高気密高断熱化が進んでいますが、そこに息苦しさを覚える人も少なくありません。暑かろうが寒かろうが、やっぱり自然の空気がいいんです。人間も自然の一部なのだから。

私は、「共存」とか「自然を保護する」とか、そういう言葉はあまり好きではありません。逆ではないかな、と思うからです。植物のほうが人間よりもずっと古いんですから。だから、「植物に人間が生かされている」と考えるほうがいいのではないかと思います。

庭というのは、一番身近な「自然」です。

そればかりでなく、もう一歩進めていくと、「環境」につながっていきます。もともとは個人的な空間であるけれど、ある程度植物が育っていくと、その木々は個人の家を超えて、町並みをつくっていく。ですから、エクステリアをつくるみなさんは、そういった視点で、自負と責任をしっかりとってプランしていただきたいと思っています。



いだ・ようすけ  
**井田 洋介** ガーデンデザイナー、園芸研究家

1944年11月、大阪生まれ。  
東京都立園芸高校卒業。  
造園と園芸の店「アウトテリア民園」主宰。  
ガーデンデザイナー、グリーンコーディネーターの  
草分け的存在として、ガーデンデザインや  
コンテナガーデン指導のほか、  
NHK「趣味の園芸」「私のガーデニング」や雑誌、  
講演など幅広く活躍。

#### 主な著書

- 「リビングガーデン 庭で素敵に暮らす」長岡書店
- 「新・庭のデザイン実例集5」
- 「小さなグリーンのある暮らし」家の光協会
- 「コンテナガーデン」NHK趣味の園芸別冊
- 「グリーンを楽しむ」コスモビルズ
- 「小さな庭で楽しむ花」
- 「エクステリアで楽しむ花」NHK出版
- 「園芸ミニ百科」ひかりのくに

次回から3回にわたり、井田洋介さんの実戦講座「居心地のいい庭づくり」をお送りします。  
第1回は「アウトドアリビング」のヒントが満載。お楽しみに！